

アル・アクサ洪水第669日目：アブ・オベイダが赤十字訪問を条件にする一方で、飢饉は閾値を超えた

Palestine Chronicle、2025年8月4日、脇浜義明訳



イスラエルはガザで残虐な虐殺を行った。(Photo: via QNN)

主要事項

*ユニセフは、飢餓とイスラエルの死の罫と呼ばれる援助メカニズムのために、1,400人以上のパレスチナ人が死亡し、数万人が負傷または避難移住を余儀なくされていると指摘し、ガザが飢餓に陥っていると述べた。

*アル・カッサム旅団のアブ・オベイダは、イスラエルが空爆をやめ、国境クロッシング閉鎖を解けば、赤十字のイスラエル人質への食料援助を許可すると述べた。

*ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日以降のイスラエルの攻撃の犠牲者は、死者60,933人、負傷者150,027人となった。その多くは女性と子どもである。

最新情報

8月4日 11:42 pm (パレスチナ時間)

*オサマ・ハムダン (ハマスの上級外交官)：イスラエルは相変わらず、米国の支援と国際社会の沈黙と無力の中で、ガザに対する絶滅戦争と飢餓戦略を続けている。米国とイスラエルは、ガザに関する安保理会議を、人質問題だけの会議に仕立て上げようとしている。ガザの死者数は、安全保障理事会加盟国に対し、200万人のガザ・パレスチナ人が経験している破局に立ち止まって向かい合うように求めるメッセージである。

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル軍参謀総長に近い筋は、参謀総長の目的は、「ハマスを打倒して、戦略的罠に陥ることなく人質返還を勝ち取ること」であると言った。一方、政府は軍事行動を拡大し、ガザを全面的に占領する新計画を練っている。

*アル・ジャジーラ：アッシーファ病院のモハンマド・アブ・サルミヤ院長は「子どもと高齢者が衰弱し、飢餓による死者が毎日出ている。我々は世界に、病院、避難民テント、そしてパン一切れさえない民家を訪れよと言っている」と語った。

8月4日 10:13 pm

*チャンネル13：3月の交渉議事録によると、ネタニヤフは一時停戦後戦争再開を主張していることが判明した。この主張は、軍や治安機関幹部から戦争を中止して人質返還に力を入れよという勧告を無視して、行われたと報道された。

*イスラエル・ハヨム紙：イスラエル安全保障関係の高官の話では、ネタニヤフ首相は「ガザの残余の地区への戦争拡大の最終的決定を下していないが、そういう方向へ動いている」という。

*イスラエル・メディア：人質家族会は次のように言った。「ガザ占領計画は人質の命と兵士の命を失うことにつながる。政府は意図的に人質救済をサボタージュしており、世論を誤導している。軍当局は人質返還選択肢を提案したのに、政府はその機会を意図的に逃した。数十人の人質が、政府が追求しなかった交渉合意を待っている間に、飢えと病気で死亡した。この戦争が始まってから、何の軍事的成果もなく50人の兵士が戦死した。交渉を潰したのはイスラエル政府である。」

*エルサレム・ポスト：イスラエル軍精神衛生部の長は、心理療法が必要な予備兵の人数が1,000%増加したと言った。

*アル・ジャジーラ：イスラエルのガリ・バハラヴ・ミアラ検事総長は、政府が彼女を解任する決定をしたのは違法であると非難した。

8月4日 9:17 pm

*チャンネル13：エヤル・ザミール参謀総長は、ネタニヤフ首相がガザ占領に関する決定をしたというニュースを受け、米政府訪問の予定を中止した。

*カン：イスラエル閣僚の話では、政府のガザ全面的占領計画が承認されれば、エヤル・ザミール参謀総長は辞任するかもしれない。

*イエディオト・アハロト：情報筋によれば、トランプ米大統領はネタニヤフ首相に、ハマスに対する軍事作戦強化を承認した。

*チャンネル14：ネタニヤフ首相側近がチャンネル14に対し、首相はガザの完全占領を進める意向だと語った。もし軍のトップがそれに反対するならば、辞任すべきだと言った。しかし、ある高官は、最終的決定は内閣が下すので、まだ正式決定ではないと言った。

*パレスチナ・メディア：病院筋の報告によれば、今日夜明けからのイスラエル軍の攻撃で、74人のパレスチナ人が死亡し、そのうち36人は人道支援物資を待っているときに殺害された。

*アル・ジャジーラ：ガザ保健省の長はアル・ジャジーラに対し、「病気が子どもたちの間で蔓延している。汚染水がギランバレー症候群の主原因だ。我々は長年ギランバレー症候群の蔓延を警告してきたが、今でそれによる大量死が起きている。この病気の治療法はガザの病院ではない」と語った。

*カン：イスラエル最高裁はガリ・バハラヴ・ミアラ検事総長の解任決定を一時停止する仮命令を出した。

8月4日 6:44 pm

*アル・ジャジーラ：ガザの国境なき医師団(MSF)のプログラム・コーディネーターはアル・ジャジーラに対し、子どもたちはまともな食事が摂れず、病気でひどく苦しんでいると言った。

*イスラエル・メディア：閣僚会議でガリ・バハラヴ・ミアラ検事総長の解任が全会一致で承認された。通信大臣は、高等法院の決定を待たずに新検事総長の任命を求めた。

*イスラエル・ハヨム紙：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣は、本日以降すべての省庁はガリ・バハラ
ヴ・ミアラ検事総長との関わりを完全停止せよと述べた。また彼は、超正統派ユダヤ教徒の兵役免除を規定する法案の可決
を拒否したとして、外務・安全保障委員会の委員長を解任することが同委員会で承認されたと述べた。

*イスラエル・ハヨム紙：障害をもつイスラエル兵ガリハビリ・センターの前で自殺を図るといふ異例の事件が起きた。
心的外傷ストレス障害を持つこの兵士は、可燃性液体を被って自殺を図った。

8月4日 5:29 pm

*パレスチナ・メディア：野党指導者のヤイル・ラピッドは、現在の閣議は政治問題の協議でなく、ネタニヤフの保身を
図る談合であると言った。

*イスラエル・ハヨム：情報筋によれば、ガザ戦争のあり方をめぐって政治指導部と軍部との緊張が高まっている。軍
部はハマスのいるガザから撤退することを主張し、強硬派大臣たちはガザの全面的占領を主張している。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員の報告では、ガザ回廊北部で人道支援物資を貰おうとしていた人々にイス
ラエル軍が発砲し、数人が負傷した。

*ガザ政府メディア・オフィス：この8日間でイスラエル占領軍が搬入許可した人道支援物資は必要量の14%であっ
た。

8月4日 1:48 pm

*オーストラリア・メディア：オーストラリアのSBSニュースのインタビューの中で、元法務長官グレイアム・ブリュー
ーウィットは、「もし私が国際刑事裁判所の判事だったら、躊躇なくイスラエルの指導者たちを起訴する」と言った。彼は、
ジェノサイドの証拠は山のようにあると付言した。

*ガザの囚人メディア・オフィス：今日イスラエル当局はガザ出身の拘留者9人を釈放した。釈放された人たちはガザ回
廊中部のデイル・アル・バラフ市東のキスフィム・クロッシングを通過してアル・アクサ殉教者病院へ着いた。

8月4日 10:58 am

*パレスチナ・メディア：地元情報によれば、今日、イスラエル占領軍が西岸地区へブロン南にあるデュラを襲っ
た。

*ガザ保健省：この24時間で飢餓による栄養失調で5人が死亡したと病院筋の報告がある。

*パレスチナ・メディア：アル・アウダ病院の報告によると、ヌセイラト難民キャンプの東のネツァリム回廊近くの援助
物資配給センターで、飢えた住民へのイスラエル軍の発砲で7人が死亡し、12人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：アッダミール人権財団（1993年に設立されたNGO）は、米国のいわゆる「ガザ人権財団」が
管理運営する援助物資配給センターで行方不明者が増加していると報告した。アッダミール財団の声明は、これらのセン
ター付近で54人が行方不明で、それは殺害された人々の遺体の回収をイスラエル軍が許可しないためだと述べている。

*パレスチナ・メディア：今朝、ガザ市東部のシュザイヤ地区の民間人への爆撃で、4人のパレスチナ人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：ガザ医療救援局のモハンマド・アブ・アフシュはアル・ジャジーラに対して、「ガザに入る救援物
資はガザ人口の1%を賄うのにも足りない。栄養失調による症例が増え続けている。援助物資が無事に住民に届くような輸
送経路が必要である。もう数か月間多くの種類の食糧が届いていない。清潔な水も住民の必要を満たしていない」と語っ
た。

*チャンネル13：イスラエル南部の軍事基地で燃料漏れ事故が発生し、1人のイスラエル兵が重度の火傷を負った。

*アル・ジャジーラ：情報筋の話によると、西岸地区北部のジェニンの南の町カバティアの占領軍に包囲された地区で2
人目のパレスチナ人遺体が発見された。この前に、パレスチナ・メディアはユセフ・アル・アメル死亡と、彼の遺体を占
領軍が押収したと報じていた。

*アル・ジャジーラ：病院筋によると、今日夜明けからのイスラエル軍の攻撃で21人のパレスチナ人が死亡した。その
うち9人は食料援助を求めているときに殺害された。

*イスラエル軍ラジオ放送（ヤイル・ラピッドの言葉を引用）：ガザ戦争は正しかったが、今や無意味となった。ネタニ
ヤフ政府は我々を恒久戦争に引きずり込んでいる。スモトリッチとベン・グヴィルはガザを占領して、納税者の金をガザ
の子どもの教育資金にしようとしている。

8月4日 12:57am

*オーストラリア政府：わが国はガザの破局に対して追加で2000万ドルを提供する。わが国は、イスラエルが国際司法裁判所の判決に従うこと、ガザへの物資搬入を許可せよという国際的要請に一貫して賛同してきた。ガザの民間人の飢餓と苦しみは終わらせるべきである。

*イスラエル国連大使：我々の要請に基づいて、国連安保理は、明日、ガザの人質の状況に関する緊急会議を開く。

*イスラエル軍：砂漠偵察大隊の兵士4人が、ガザ回廊で作戦中の車両事故で負傷した。1人は重傷である。

8月3日 11:45pm

*イスラエル・メディア：テルアビブで人質家族を中心とするデモ隊と警官隊が衝突し、デモ隊員が何人か逮捕された。

*アル・アウダ病院：ヌセイラト難民キャンプが空爆され、女性1人が死亡し、数人が負傷した。

*アブ・オベイダ声明：我々アル・カッサム旅団は赤十字社の支援物資輸送要請に協力する用意がある。我々は人質を意図的に飢えさせているわけではない。人質は戦闘員や民間人と同じように、あるものを食べている。封鎖と飢餓の状況下で彼らを特別扱いてくれるわけがない。食料と医薬品がガザに入るように恒久的な人道回廊を設置すべである。赤十字が人質に食料を届ける間はイスラエル軍は無人機による攻撃をやめるべきである。